

## 留学生からの現地レポート

学生ボランティアとして、また、ボランティアワークキャンプ、グローバルワークキャンプ実行委員、インターン等で事業団に関わってきた多くの学生の皆さんが世界各国へ留学しています。このページでは、その留学している学生達の、感じた事・体験した事を現地レポートとして掲載していきます。



### 「ポーランド留学体験記」

筑波大学 社会・国際学群国際総合学類 3年  
ヤゲロニアン大学へ留学中（ポーランド）

三藤 紫乃 さん

私がポーランドにやって来て2カ月が過ぎました。私がこの国に来ることを決めたのは去年の秋。幼いころに「アンネの日記」を読んで衝撃を受けた時から、ヨーロッパでの戦争の歴史、特にナチスドイツによるユダヤ人迫害の歴史に関心を持った私は、ずっとポーランドの地に来て学びたいと考えていました。幸い私の大学はポーランドのヤゲロニアン大学と協定を結んでおり、留学希望者が私しかいなかったことからすんなりと留学できることが決まりました。

日本での知名度はあまり高いとは言えないポーランド。（留学が決まった時も友人たちからポルトガルと間違われたり、場所を聞かれたりすることが多数ありました。）世界地図を広げるとドイツの右隣にポーランドを見つけることができます。ヨーロッパの中央に位置し、文化の交流地として豊かな芸術・文化を生み出す一方で、この国は歴史上多くの苦難も経験してきました。私の研究対象であるホロコースト（ショア）の現場の1つとなったアウシュビッツもポーランドにあります。

私が住むクラクフという街はそのような歴史を乗り越え、現在では芸術と音楽溢れる古都として多くの人々を魅了しています。私の大学は旧市街のすぐ近くにあり、英語で行われる授業を頑張った後に、自分の好きなカフェに行ってコーヒーを飲みながら授業の復習や本を読みながら過ごすのが私のお気に入りの時間の過ごし方です。

大学は英語の授業が充実しており、パーティーやイベントを通じて他の留学生と親しくなるので英語を話す機会がたくさんあります。英会話がお世辞にも上手いとは言えない私ですが、そんな私でも毎日英語を使う環境で、聞き取りや会話に慣れてきました。加えてヨーロッパの国としては珍しいことに物価が安いこともポーランドの魅力です。

実は授業が本格的にはじまるのはこれからの私。厳しい冬と英語の授業を楽しみながら成長していこうと思います。

写真は、現在通っている大学の一角。創立から650年を迎える大学は歴史ある建造物も沢山あります。



## Fair Trade Station

～フェアトレードを知ろう！～



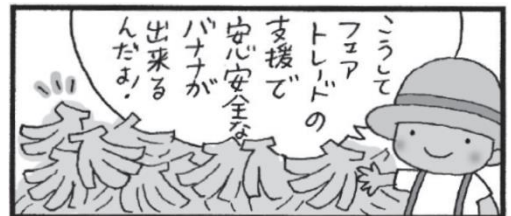
In our village, coffee and bananas are grow up together.



The Big leaves of banana cover the coffee, who dislike direct sunlight



So, the bananas without any chemicals grow up to be healthy, sooo sweet and delicious!  
And, these bananas make us happy!



Thanks to fairtrade, we can grow organic bananas with out worry!

作者/イラストレーター 村井健太郎氏  
プロフィール  
熊本市「ひごまる」ロアツク熊本  
「ロアツクくん」長崎書店第1回  
La!Bunko イメージイラスト など  
熊本デザイン専門学校常勤講師